

日野市高齢者福祉総合計画策定のための医療機関調査

事業所の概要について

問1 貴医療機関の基本情報について各項目をご記入ください。(令和4年10月末現在)

診療科						
病床数	床					
外来患者数	1日平均 人					
スタッフの数 (実人数)	医師	人	看護師	人	相談員(MSW)	人
	その他の福祉専門職	人	その他の医療専門職	人	事務その他	人

問2 在宅療養支援診療所(病院)としての届け出をしているかどうか、お答えください。

1. あり 2. なし

在宅医療への取り組み状況についておたずねします

問3 訪問診療をされているかどうか、お答えください。されている場合、頻度や対象者数を教えてください。

1. している (平均 1日 件)又は(平均 1月 件)(対象者数:実人数 人) → 問4へ
2. していない → 問5へ

問4 訪問診療はどなたからの依頼で行っていますか。あてはまるものをすべて選んでください。その他の場合は具体的にお答えください。

1. 患者本人・家族からの依頼
2. 訪問看護ステーションからの依頼
3. ケアマネジャーからの依頼
4. 他の医療機関 や医師からの 依頼
5. 有料老人ホーム等の施設からの依頼
6. その他()

→ ご回答後、問 6 へ

問 5 訪問診療を実施しない理由は何ですか。あてはまる内容をすべて選んでください。その他の場合は具体的にお答えください。

1. 外来診療などが多忙で、訪問診療を実施する余裕がないから
2. 診療報酬が十分でないから
3. 体力や精神的に難しいから
4. 実施するためのノウハウが良くわからないから

- 5. 自宅では、適切な検査や対応が困難だから
- 6. 既存の訪問診療で充足しているから
- 7. その他()

問6 今後、高齢化の進展に伴い、社会的に在宅療養ニーズが高まると予想されますが、今後、日野市で在宅医療を充実させるためには、どのような施策が必要だと思いますか。あてはまる内容をすべて選んでください。その他の場合は具体的にお答えください。

- 1. 家族向けの資料配布や講演会などによる周知活動
- 2. 医療職と介護職の協働・連携による家族支援の充実
- 3. 在宅専門医療機関の増加・充実
- 4. かかりつけ医による訪問診療への対応
- 5. 多職種による勉強会・研修会の開催
- 6. その他()

問7(1)依頼があれば往診をされているかどうか、お答えください。

- 1. している →(2)へ
- 2. していない →問8へ

(2)休日や夜間に往診の要望があった場合、対応していますか。

- 1. 自分で対応する
- 2. 訪問看護による対応を先行させ、必要があれば自分で対応する
- 3. 夜間・休日は他の医療機関に依頼する
- 4. 対応していない

問8 高齢者の自宅で看取りを行ったことがありますか。

- 1. ある →問9へ
- 2. ない → 問10へ

問9 それまで診療したことのない高齢者であっても、訪問による看取りの要望を受け付けますか。あてはまる内容を1つ選んでください。その他の場合は具体的にお答えください。

- 1. 受け付ける
- 2. かかりつけでない患者については、お断りしている
- 3. その他()

問10 看取りを行う上で、困難と感ずることは、どのようなことですか。あてはまる内容をすべて選んでください。その他の場合は具体的にお答えください。

- 1. 延命治療を行うかどうか、本人の希望がわからない
- 2. 現場にいる介護職からの問い合わせへの対応等、連携が難しい
- 3. かかりつけの患者の看取りの際、別の患者の診療と重なってしまい、対応できないことがある
- 4. 現場の介護職の対応が不足していると感じることが多い
- 5. 検視検案ケースにならないようにするのが難しい

□6. その他()

在宅療養を支援する上での課題についておたずねします

問11 訪問診療を行う診療所の数は、市内に十分あると思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。その他の場合は具体的にお答えください。

□1. 充足している □ 2. 足りない □3. その他()

問12 休日や夜間に往診を行う診療所の数は、市内に十分あると思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。その他の場合は具体的にお答えください。

□1. 充足している □ 2. 足りない □3. その他()

問13 訪問看護ステーションについて

(1) 訪問看護ステーションの数は、市内に十分あると思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。不足の状態、その他の場合は具体的にお答えください。

□1. 充足している □ 2. 足りない(具体的に:)
□3. その他()

(2) 訪問看護サービスの提供について、足りないと感じる時間帯(夜間～早朝)をすべてお答えください。

- 1. 18 :00 ~22 :00 (夜間)
- 2. 22 :00 ~6: 00(深夜)
- 3. 6: 00 ~ 9: 00 (早朝)

問14 在宅での服薬の状況について

(1) 服薬を忘れる患者さんについては、どのように対応されていますか。実施している対応をすべて選んでください。その他の場合は具体的にお答えください。

- 1. 薬の処方工夫し管理しやすくする等、薬剤師に指示する(1包化、服薬回数を減らす、パッチ等)
- 2. 調剤薬局・薬剤師の訪問等により服薬管理を実施できるようにする(在宅患者訪問薬剤管理指導)
- 3. 訪問看護ステーションに服薬管理を指示、依頼
- 4. ケアマネジャーに服薬管理を指示、依頼
- 5. 家族や施設の介護スタッフへ指示、依頼
- 6. その他()

(2) 薬を飲み込むことが困難な患者さんについては、どのように対応されていますか。実施している対応をすべて選んでください。その他の場合は具体的にお答えください。

- 1. 薬の処方を工夫し、飲みやすい薬に変えたりしている
- 2. 注射や点滴などで代替している
- 3. ゼリーやとろみ水を利用するなど、飲みやすくしている
- 4. その他()

問15 在宅高齢者による医療機器の管理について困難な事例はありますか。また、その場合の対処方法はどのように対応されるか具体的に教えてください。

1. 管理が困難な事例はない
2. 管理が困難な事例がある(具体的な対応方法: _____)

問16(1) 診療時に、身寄りのない患者が、介護や生活支援を必要と感じた際、どなたに支援を要請しますか。考え得る要請先をすべて選んでください。その他の場合は具体的にお答えください。

1. 地域包括支援センター
2. ケアマネジャー
3. 貴病院(貴診療所)内のメディカル・ソーシャル・ワーカー等の相談員
4. 訪問看護師
5. 市立病院に設置されている「在宅療養高齢者等支援窓口」
6. その他(_____)

(2)(1)で選択した機関や専門職にどのようなことを期待しますか。支援要請先ごとに、期待する支援の内容を記載してください。

支援要請先	期待する支援の内容
1. 地域包括支援センター	
2. ケアマネジャー	
3. 貴病院(貴診療所)内のメディカル・ソーシャル・ワーカー等の相談員	
4. 訪問看護師	
5. 市立病院に設置されている「在宅療養高齢者等支援窓口」	
6. その他 (_____)	

問17 受持ち患者の入院について

(1)受持ち患者の入院について、他の病院(診療所)に相談したものの、入院を拒否された例はありますか。どちらかお答えください。

1. ある → (2)へ 2. ない → (3)へ

(2)拒否された際の理由として、以下に当てはまるものがあれば、すべて選んでください。その他の場合は具体的にお答えください。

- 1. 患者が認知症を患っているため
- 2. 患者に身寄り(保証人)がないため
- 3. 病床が満床であるため
- 4. 医者や看護師等の体制が、整っていないため
- 5. その他()

(3) 他の病院(診療所)への入院を円滑にするために、どのような対応をされていますか。実施している対応をすべて選んでください。その他の場合は具体的にお答えください。

- 1. 患者と相談し、あらかじめ受け入れ先の医療機関を決めている
- 2. 訪問看護ステーションを通じて受け入れ先をさがす
- 3. 知り合いの医師や医療機関に依頼する
- 4. 特定の病院と、患者の受入れについて予め提携しておく
- 5. 救急搬送を行い、委ねる
- 6. 日野市の「在宅療養高齢者一時入院支援事業」を利用し、市立病院に入院を働きかける
- 7. 特に対応はしていない(入院させることに苦労はしている)
- 8. 特に対応はしていない(入院は円滑にできているので)
- 9. その他()

問18 情報提供について

(1) 他の病院に入院させた受持ち患者が退院する際、病院から積極的に情報提供がされていますか。

- 1. ほとんどの場合、問い合わせなくても病院から退院時に情報提供を受けられる → 問19へ
- 2. こちらから問い合わせれば、情報提供を受けられる → 問19へ
- 3. ほとんど、病院から情報提供は受けられない → (2)へ

(2)他の病院から情報提供を受けられない場合、どのように退院した受け持ち患者の情報を入手しますか。実施している方法をすべて選んでください。その他の場合は具体的にお答えください。

- 1. 訪問看護師を通じて情報を得ている
- 2. ケアマネジャーを通じて情報を得ている
- 3. 地域包括支援センターを通じて情報を得ている
- 4. 患者本人・家族から情報を得ている
- 5. その他(具体的に)

認知症の支援についておたずねします

問19 認知症患者又は認知症と疑われる患者の診療をすることがありますか。いずれか1つを選んでください。

- 1. よくある

- 2. たまにある
- 3. ほとんどない
- 4. 患者が認知症かどうかは意識したことがないので、わからない

問20 認知症の診断について

(1) 認知症と疑われる患者について、認知症の診断を行っているかどうかをお答えください。

- 1 診断を行っている → 問21へ
- 2 診断を行っていない → (2)へ

(2) 認知症の診断は、ほかの医療機関を紹介されていますか。あてはまる対応を1つ選んでください。

- 1. 認知症の診断が可能な、市内の医療機関を紹介している
- 2. 認知症専門医がいる、市外の医療機関を紹介している
- 3. 「2」以外の認知症の診断が可能な、市外の医療機関を紹介している
- 4. 認知症の診断が可能な医療機関との連携体制がないため、紹介はしていない

問21 認知症の治療にあたり、困難だと感じることはありますか。あてはまる内容をすべて選んでください。その他の場合は具体的にお答えください。

- 1. 精神疾患と認知症との区別が難しい
- 2. 適切な認知症治療薬の処方が、専門医でないと難しい
- 3. 本人が、認知症の診断を受けることに抵抗を示す
- 4. 家族が、認知症の診断を受けることに抵抗を示す
- 5. MRI等、診断に必要な設備がない
- 6. その他()

問22 認知症患者の支援に関し、研修や講座が開催された場合、参加したいと思いませんか。いずれか1つを選んでください。

- 1. ぜひ参加したい
- 2. 時間が合えば、参加したい
- 3. 必要性を感じない、または興味がない
- 4. 認知症患者の支援に関し、既に十分な知識があるので、出席しない

問23(1)医療機関が認知症検診を行うには、「認知症サポート医」「認知症専門医等※」「東京都かかりつけ医認知症研修受講者」のいずれかに該当することが条件となっています。貴医療機関の状況についてあてはまるものを1つ選んでください。

- 1. 既に条件に該当している → 問24へ
- 2. 必要だと思うので、いずれかの条件を満たすことを考えている → (2)へ
- 3. 必要だと思うが、条件を満たすことについて現状では考えていない → (2)へ
- 4. 必要だと思うが、自分が条件を満たすことは難しい →(2)へ
- 5. 必要だと思わない →問 24 へ

※日本老年精神医学会もしくは日本認知症学会の定める専門医又は認知症疾患の鑑別診断等の専門医療を主たる業務とした 5 年以上の臨床経験を有する医師のこと。

(2)「認知症サポート医養成研修」または「東京都かかりつけ医認知症研修」を受講されていない理由は何ですか。1つ選んでください。その他の場合は具体的にお答えください。

- 1. 業務の都合と研修の場所・時間の都合がつかない
- 2. 研修を受けたとしても、当該事業に割く時間の余裕がない
- 3. 研修を受けたとしても、診療科が異なり認知症患者を診察する機会がない
- 4. その他()

問24 早期診断・早期治療について

(1) 認知症患者又は認知症が疑われる患者の初診時に、もっと早く認知症治療を始めれば良かったのとは感じたことはありますか。いずれか 1つを選んでください。その他の場合は具体的にお答えください。

- 1. よくある → (2)へ
- 2. ときどきある → (2)へ
- 3. たまにある → (2)へ
- 4. ない → 問25(1)へ
- 5. その他() → 問25(1)へ

(2)どのような理由から早期治療の必要性を感じられましたか。あてはまるものをすべて選んでください。その他の場合は具体的にお答えください。

- 1. もっと早く服薬をしていれば、進行を遅らせることができた
- 2. 脳血管障害等による症状であったので、早期に手術等を行えば、かなりの程度回復する見込みがあった
- 3. もっと早く認知症の診断を受けていれば、介護保険等の資源を有効に使って支援することができた
- 4. その他()

介護との連携についておたずねします

問25 介護との連携

(1)在宅療養をしている高齢者を支援するにあたり、ケアマネジャーや介護事業所(地域包括支援センターを含む)と連携は必要だと思いますか。どちらか1つ選んでください。

- 1. 必要である →(2)へ
- 2. 必要ない →(3)へ

(2)連携が必要だと思う理由は何ですか。あてはまる理由をすべて選んでください。その他の場合は具体的にお答えください。 ※ご回答後、問 26 へ

- 1. 患者の生活面に不安を抱えていそうだと感じるから
- 2. 適切な治療や薬の処方、診断、在宅療養の支援のため、介護等の情報を収集することが必要だから
- 3. 医療だけでなく介護や生活支援を含めた、総合的な支援が必要であると感じるから
- 4. その他()

(3)連携が必要ないと思う理由は何ですか。あてはまる理由をすべて選んでください。その他の場合は具体的にお答えください。 ※ご回答後、問 26 へ

- 1. 医療機関は、医療のことに特化して支援した方が、むしろ効果的な支援ができるから
- 2. 情報や課題の共有、支援策の検討をしてもより良い支援につながるとは思えないから
- 3. ケアマネジャーや介護事業所とは医療用語や知識の面でコミュニケーションがとりづらく、訪問看護ステーションを介する方が効果的だから
- 4. 介護に関する知識が自分に不足しており、連携しても期待した効果は得られそうにないから
- 5. その他()

問26 ケアマネジャーや介護事業所(地域包括支援センターを含む)との連携はどのように行っていますか。実際にあてはまる内容をすべて選んでください。その他の場合は具体的にお答えください。

- 1. 患者や家族、ケアマネジャー等の関係者と支援内容等について打合せを行っている
- 2. 関係者を集めて打合せを行うことはないが、ケアマネジャーと別個に打合せを行うことがある
- 3. 診療情報を、ケアマネジャーや介護事業所に、情報提供している
- 4. 利用している介護サービスの情報や、生活状況、状態等について、ケアマネジャーから情報提供を受けている
- 5. 介護サービスの利用の開始が必要だと感じる患者に関し、担当してくれそうなケアマネジャーに自分から連絡し、つなげている
- 6. 現在の介護 サービスの状況等を確認するため、自分からケアマネジャーに連絡し、情報を収集している
- 7. その他()

問27 連携する際、地域包括支援センターに期待することは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。その他の場合は具体的にお答えください。

- 1. 担当着任時に、かかりつけ医に担当となった旨、一報を入れて欲しい
- 2. 構えず、気軽に連絡を入れて欲しい
- 3. 連絡を入れる時間には、診療時間を避けるなど、気をつけてほしい
- 4. 医療的な知識も多少勉強してほしい
- 5. 介護に関する知識は、かみ砕いて説明してほしい
- 6. 特にない
- 7. その他()

問28 連携する際ケアマネジャー、介護事業所に期待することは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。その他の場合は具体的にお答えください。

- 1. 担当着任時に、かかりつけ医に担当となった旨、一報を入れて欲しい
- 2. 構えず、気軽に連絡を入れて欲しい
- 3. 連絡を入れる時間には、診療時間を避けるなど、気をつけてほしい
- 4. 医療的な知識も多少勉強してほしい
- 5. 介護に関する知識は、かみ砕いて説明してほしい

6. 特にない

7. その他()

情報共有の手段についておたずねします

問29 ケアマネジャーや介護事業所(地域包括支援センターを含む)、訪問看護ステーションと情報共有を図る場合、どのような手段で情報共有を図っていますか。実際に使っている手段をすべて選んでください。その他の場合は具体的にお答えください。

1. 電話 → 問31へ

2. FAX、e-mail、郵送 → 問30へ

3. 会議・打合せ → 問31へ

4. その他() → 問31へ

問30 貴医療機関では、決まった書式を用いていますか。どちらかを選んでください。

1. 書式を決めている 2. 特に決まった書式はない

問31 日野市では、医療機関とケアマネジャー等との連携時に活用いただけるよう、情報共有のための「介護と医療の連携シート」を作成していますが、これを活用しているかどうか教えてください。

1. 活用している

2. 他のシステムで活用している

3. 活用していない

医療連携についておたずねします

問32 市内の診療所で協力・連携し、24時間の往診体制を整備することは、必要と考えますか。どちらかを選んでください。

1. 必要である 2. 必要ない

問33 24時間の往診体制を整備することとなったとき、協力は可能ですか。意向を教えてください。

1. 協力する

2. コーテーションの頻度によっては、協力できる

3. 協力は難しい

問34 日常の診療において、「フレイル」を意識した診療を行っていますか。どちらかを選んでください。

1. 行っている → 問35へ 2. 行っていない → 問36へ

問35 仮に、「フレイル」と診断した場合、どのような対応を行っていますか。あてはまるものをすべて選んでください。その他の場合は具体的にお答えください。

1. 医療的な面から生活上の注意を伝える

2. 通いの場への参加をすすめる

3. 日常的な運動をすすめる

- 4. 食事についてアドバイスする
- 5. その他()

問36 今後、日野市で「フレイル」予防を推進していくために、市としてどのような施策が必要だと考えますか。有効だと思う施策をすべて選んでください。その他の場合は具体的にお答えください。

- 1. 市民向けの講座の開催
- 2. 広報やホームページ等による情報の周知
- 3. 専門職間での連携の支援
- 4. 地域で活動を推進している団体等への講師派遣
- 5. 地域で活動する人材の育成
- 6. 市民サポーターの育成
- 7. フレイル予防プログラムの整備
- 8. その他()

自由意見

問38 日野市内において医療と介護の連携を進める上で、どのようなことが課題であるとお考えですか。
(自由にご記入ください)